

ですが、その当時はなかったです。
市長 「これだ！」と思ってつくろうとしたんですね。師匠がいない中、どうやって始めたのですか？
田中 本を読んで試行錯誤を繰り返しました。「動かない」と言いながら動くようになるとうれいいですよね。ちょっとした積み上げで面白さを感じて。やはり好きだから続けられたと思います。
市長 そのころは本来の勉強を終えて新規の事業を行うために1日にどれくらい働かれましたか？
田中 夜の0時から3時ごろ、時間にすると3〜4時間です。空いている時間が深夜だったので。
市長 学生の使命(勉強)があつて、深夜しかなかったのですか？
田中 そうですね。最後の方はクラブ活動とロボコンも終わっていたので、16時ごろに授業が終わって、事務所仕事をし、朝にバスに乗って帰る生活をしていました。
市長 寝ずに頑張っておられたのですか？
田中 当時はそうでした。今はたくさん寝られているほうです。
市長 まだお若いですが、一番忙しかったのはいつですか？
田中 高専に在学していたころが一番忙しかったです。とにかく卒業しないといけないですから。当社のアルバイトにもよく言うのですが「学校だけは卒業しろよ」と。



頑張らないと絶対チャンスは来ない

市長 私も同じ思いです。
田中 どちらかではなく、両方達成する方法を考えないといけないと思います。私の場合、そのトレーニングで失ったものは寝る時間でした。あのころは若かったです。今は一晩も徹夜をしたら一週間は尾を引きます。
市長 仕事のほかに趣味などはありますか？
田中 高専では吹奏楽部に所属し、トロンボーンを担当したり指揮者もやっていました。音楽は今でも大好きです。当然ロボットをつくることも。あとは旅行も好きですね。
幼少期のこと
市長 在学中に起業され現在にいたる田中社長ですが、小さな頃はいです。「舞鶴かに」もありまして、舞鶴から出発できるクルーズがあつても良いのかもしれない。私がいたころは赤れんが倉庫群も暗い感じで、今のようにはきれいではなかったです。
市長 人口が増えるともちが元気になる。そのためには、若者が住んでくれないといけない。若者が住むためには、子育てや教育、医療が整い安心して住めることに加えて、雇用を創出して働く場も必要だと思っています。
田中 プラスアルファで何かありませんか？
田中 一番気になってるのは、西舞鶴と東舞鶴、あと中舞鶴があり、まちが分散しています。まちに関して総花的なまちでは将来



人とのつながりは仕事や仕事以外の感性を広げる

の施設の集約がむずかしいのではないかと心配しています。市長がやってこられた病院も機能ごとにある程度分担できるように、例えばここは官公庁のまち、ここは観光のまちとか場所ごとに色付けしながら集約し、まちづくりをしていくと面白いと思います。
市長 社長から舞鶴の若者に対してメッセージをいただけますか？
田中 若いときのつながりは大人になってもずっと続きます。それを大切にしたいです。仲間を増やすということですね。このつながりは仕事や仕事以外の感性を広げます。あと、舞鶴には学校が多いですよ。看護学校や海上自衛隊舞鶴教育隊、海上保安学校、高等学校など、その人たちがつな

てくれました。零戦などいろんな機械が置いてあるのを見せてくれて、ものづくりへの興味を引く教育してくれた印象があります。
市長 ご両親の影響がかなりあるということですね。
田中 そうですね。直接というよりは私が興味を持っている方向に、より興味を持たせたという意味では影響があつたと思います。
市長 舞鶴に行こうと思つたきっかけは何ですか？
田中 奈良から丹波篠山に引越したのがきっかけです。奈良は遠かったのと、ロボコンを小学生のころから見ていて「舞鶴高専に行きたい」「ロボコンをやりたい」という思いがあり、迷うことなく舞鶴高専を受験しました。
市長 舞鶴の印象はどうでしたか？
田中 舞鶴というより舞鶴高専の印象は、市街地から離れていて、駅から遠くて周りに何も無いというのが最初の印象でした。
市長 舞鶴の人の印象は？
田中 高専生に舞鶴市民は比較的小なかつたです。でも教員に舞鶴の方もおられ、皆さん親切で、学生を育てようという心意気が伝わってきました。
舞鶴に思うこと
市長 若いころ舞鶴に住んでおられました。外から舞鶴を見て、

る機会って少ないと思います。舞鶴が特殊なのは、15〜20歳の人口が多いところ。ほかのまちではあり得ません。20歳になったら外へ出てしまうこともありませんが、15〜20歳はその後の人生を決める年代なのです。だから、その人たちが交流し、将来は学校の垣根を越えてつながりがもてると思つているし、地元に残る高校生の刺激にもなると思っています。
市長 まいづる特命大使になつていただきました。大使として何かしようとしていることはありますか？
田中 そうですね。大使になつてから舞鶴の観光資源に興味を持つようになりまして。おいしいものとか。あと、引揚記念館や赤れんが倉庫群もあります。これからこの舞鶴の良いものを周りにお伝えできたらいいなと思っています。
これから舞鶴のために
市長 話しをお聞きして成功の秘訣は、頑張らないと絶対チャンスは来ない。自分の得意とするところを見いだし、1点集中しながら友達もつくる。そして幅広く視野を広げ、チャンスが来たときにスツと乗るといふことだと思つた。若くして成功され、今後もそのサクセスストーリーを若者たちに伝授してほしいと思います。
 本日はありがとうございました。